

| 番号 | 研究課題名 | 研究概要 | 研究目的 | 研究方法 | センター教員 | 共同研究員の条件 |
|----|---|---|--|---|------------------------|---|
| 1 | 教員としての教育観とその背景にある組織のあり方を考える看護学教員向けFDコンテンツの開発と評価 | <p>我々は、看護実践研究指導センター事業「看護学教育におけるFDマザーマップの開発と大学間共同活用の促進プロジェクト」の一環として、教員としての教育観とその背景にある組織のあり方を考える看護学教員向けFDコンテンツを開発してきた。</p> <p>本プロジェクトは、これまでに開発したFDコンテンツを実際に活用したFDを企画・実施・評価することにより、さらに精練させていくことを目的としている。</p> | 全国の看護系大学の教員が、自大学の組織の現状を踏まえた教員としての教育観を確立することを支援するFD教材を開発する。 | <p>1) 複数の看護系大学教員を対象として、これまでに開発したFDコンテンツを実際に活用したFDを企画・実施・評価する。</p> <p>2) 以上をとおして、教員としての教育観とその背景にある組織のあり方を考える看護学教員向けFDコンテンツの精練を行う。</p> | 和住 淑子 教授 黒田 久美子 准教授 | <ul style="list-style-type: none"> 看護学教育に関連した実践かつ研究業績がある者。 これまでに「看護学教育におけるFDマザーマップの開発と大学間共同活用の促進プロジェクト」においてコンテンツ開発委員であった者。 <p>(継続共同研究員のみ)</p> |
| 2 | 組織の現状を踏まえた研修企画を支援する方法の開発 | <p>本共同研究では、これまで試行を重ねてきた「新人看護師教育責任者支援プログラム」について、受講した新人看護師教育責任者の、①研修ニーズ、②研修への反応、③研修内容を活かして何を実践したのかを明らかにし、「新人看護師教育責任者支援プログラム」の到達目標、必要なコンテンツを明確化し、プログラムの洗練を図ることを通して、看護管理者が自組織の現状を踏まえた効果的な研修企画を立案するための支援方法を開発する。</p> | 看護管理者が自組織の現状を踏まえた効果的な研修企画を立案するための支援方法を開発する。 | <p>「新人看護師教育責任者支援プログラム」を受講した新人看護師教育責任者の、</p> <p>① 研修ニーズ、</p> <p>② 研修への反応、</p> <p>③ 研修内容を活かして何を実践したのか</p> <p>を明らかにし、「新人看護師教育責任者支援プログラム」の到達目標、必要なコンテンツを明確化し、プログラムの洗練を図る。</p> | 和住 淑子 教授 黒田 久美子 准教授 | 令和3年度共同研究「組織の現状を踏まえた研修企画を支援する方法の開発」において、共同研究員であった者 |